

教員長期社会体験研修 4～6月期 研修報告

研修先：株式会社アドバコム エコチル編集部／札幌
研修者：札幌市立中央中学校 野呂 綱衛

【株式会社アドバコムについて】

株式会社アドバコムは2001年3月に設立され、今年20周年を迎えた。企業理念は、「コミュニケーションビジネスで社会課題解決に貢献し、人々の幸せの実現を目指す」。

代表的媒体である「子ども環境情報紙エコチル」は創刊15周年を迎え、札幌市立小学校、中学校、高等学校でも無料配布されている。また、東京、横浜でも紙面を作成し、小学校で展開している。今後は電子版での全国展開を目指す。

さらに、現在はXR（Extended Reality 仮想世界と現実世界の融合から新しい体験を生み出す）事業にも力を注いでいる。

【エコチル編集作業】

○各種記事に係る取材、原稿作成

勤務初日、教員長期社会体験研修が始まったことを伝えるため、エコチル紙面にスペースをいただいた。漢字の使い方など読者への配慮を踏まえたエコチル編集ルールに基づき、原稿を作成した。

また、紙面の「エコな人紹介コーナー」やイベント紹介に係る記事は取材から携わり、原稿を作成した。取材を通して、素敵なお話をたくさん聞かせていただいたのは貴重な経験となった。

一方、限られた文字数の中で取材対象者の思いを正確に表現し、それを読者に伝えることの難しさを改めて実感した。文章作成もコミュニケーションスキルを養う方法の一つである。

○イングリッシュ・エコ・クイズやエコワードパズル作成

定期的にエコチル紙面のコーナーをいくつか担当している。その一つがイングリッシュ・エコ・クイズである。小学生版紙面に掲載するものだが、環境問題やSDGsに絡めながら作成している。

また、中学生・高校生版紙面に毎月掲載されるエコワードパズル（クロスワードパズル）も担当している。このようなお楽しみコーナーは読者人気が高い。楽しみながら様々なことを学んでもらえたらうれしい。

制作者としては、「知らなかったことを知ることができた。」というように、クイズやパズルを解く過程で、読者に発見があってほしいという気持ちで作成している。



実際に作成した記事

【エコチルライブ】

今年4月から、「エコチルライブ」を月に1回、YouTubeを通して生配信している。この配信は、エコチル紙面をもっとわかりやすく伝えることや、新型コロナウイルス感染症蔓延による制限された生活の中でも、子どもたちに楽しい学びを提供したいという思いで制作している。

○出演者交渉、台本作成、打合せ

エコチルライブはエコチル紙面を深掘りすることがメインテーマなので、基本的には紙面構成に準じた形で進行する。紙面記事では、環境省や各地域の動物園等に御協力いただき、メールやZoom等を利用し、配信に向け出演依頼や打合せを行っている。また、紙面を超えて、札幌市環境局の方、パフォーマンスコーナー出演者の方、プレゼント協賛社の方、配信スタジオスタッフのみなさん、エコチルキャラクター「エーコちゃん」の声優さんなど、多くの方が「エコチルライブ」に尽力してくださっている。1人ではできないことも、多くの方の思いや力が集まれば大きなことを成し遂げることができる。チームワークの大切さを改めて実感した。



配信スタジオの様子

○子どもが輝く場面

紙面では、表紙を飾るイラストを子どもたちから募集しており、そのイラスト作成者にエコチルライブ出演を依頼する。依頼すると、喜んで生出演してくれることが多い。出演に向けて、何を話そうか考え、一生懸命に練習したり、出演用に新しくイラストなどを準備する子もいる。これからも、子どもが貴重な経験をし、輝く場面としていきたい。

【ラジオ番組生出演】

FMラジオ番組に生出演した。教員長期社会体験研修者ということでゲストとして声をかけていただいたのだが、アドバコムでの研修内容や今後の展望等についてお話しした。

ラジオ局に足を踏み入れたのは生まれて初めてで、新鮮な気持ちになった。長期研修をしていなければ、一生縁のないことだったかもしれない。自分から一歩踏み出すことで、成長のチャンスを得られる、ということを中心に子どもたちに伝えることができそうである。

また、時勢が許せば、このような経験も職業体験やキャリア教育に結びつけることも可能ではないか。



ラジオ局にて

【3か月間のまとめ】

この研修は自分にとってチャレンジである。この3か月で新鮮な経験もしているが、学校で培われていることも大いに通用しているので、社会において大切なことの本質は変わらないと感じる。

緊急事態宣言の発出もあり、本当はできることやしたかったことが会社としてできない状況があった。しかし、その中でもどのように想像し、創造していくのかということアドバコムは大切にしている。それは、学校はもちろん、世の中全体に求められていることだろう。